

ブルゴーニュ大学 協定留学 月例報告書 (10月)

大澤佳子

はじめに

私は以前からフランスの文化や歴史に興味があり、2年生からフランス語の授業を受講していました。さらに美術に関心があった私は、芸術や美術を身近に感じられるフランスにいつか行ってみたいと考えていました。

コロナウィルスの拡大も落ち着き、フランス語に自信はありませんでしたが、留学するなら今しかないと思い、今回の留学を決意しました。

4ヶ月という短い期間ですが、私の留学を通してフランスの文化や芸術・美術に関することなどをお伝えできればと思います。

ビザ申請と入国

まず留学前1番苦労したのがビザの申請です。ビザの申請には大使館で予約を取る必要がありますが、予約は2ヶ月先まで埋まっていることが多いです。私は大学の学費の支払いの際にクレジットカードに問題が起り、ビザの準備が遅くなってしまったので、ビザが間に合うのかとても不安になりました。早い段階からビザの申請に向けて行動することが重要だと感じました。

私は初めての海外が今回の留学だったので、飛行機での旅はとても緊張しましたが、家族と別れ、無事フランスに到着しました。パリからディジョンまではTERという電車に乗り3時間ほどで到着しました。

しかし寮についた次の日に高熱が出てしまい、病院に行ったところ、コロナウィルスだと診断されました。フランスに到着したばかりで頼れる人もおらず、フランス語もほとんど話せなかったのもとても心細かったです。

病院では解熱剤や咳止めのシロップなどを処方されました。フランス語が話せない中でも病院の先生や薬局の店員さんがとても親切で、心があたたかくなりました。



ポルト・ギヨーム

学校生活

学校は10月から授業が始まりました。登校初日にクラス決めのためのテストがありますが、私はコロナウィルスに罹患してしまったので、学校からメールでテストを送ってもらい、寮での試験となりました。

私は現在1番下の初心者クラスで勉強しています。最初のクラス分けでは1つ上のクラスに振り分けられていたのですが、先生の話すスピードも早く、また周りの生徒もすらすら

フランス語を話しており、まったく授業についていけませんでした。

授業開始の1週目であればクラスを変更できると聞いたので、先生に承諾してもらい、クラスを下げてもらいました。授業内容は基礎の部分が中心ですが、先生の話すスピードもゆっくりでとてもわかりやすいです。

上のクラスに居たときは内容が理解できないことへの焦りや周りの生徒のフランス語力に圧倒され、授業前に毎回不安になっていましたが、初心者のクラスではじっくり教えてくれるので、授業中も理解できることが多く、楽しく勉強できています。しかし初心者のクラスといってもヨーロッパ圏出身の留学生は飲み込みが早く、とても刺激になっています。また、私のクラスは定期的に確認テストがあるので、毎日コツコツ勉強しようという気持ちになります。

クラスは18人で、半分ほどが日本人です。他には中国や韓国、ウクライナ、オーストリア、ロシアなど様々な国から来ています。また年齢層も幅広く、様々な人と交流できます。

日本に行ったことがある人や、日本に旅行に行く予定がある人、日本の文化が好きな人など、想像以上に多くの方が日本のことを話してくれて嬉しい気持ちになりました。そして、様々な国の文化や習慣、言語を知ることができて、とても楽しいです。

まとめ

フランスへ来て1ヶ月が過ぎ、徐々にフランスでの生活や授業に慣れてきました。11月はディジョン以外の都市も楽しみ、美術館などにも出向きたいと思います。



ハロウィーンの装飾

留学生歓迎会の様子

